

## 5 月 12 日(木曜日) モリメイト通信の検討

【参加者:池本、越智宏、越智美、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中  
雨のため作業中止。モリメイト通信の検討をして解散。

10名】

## 5 月 19 日(木曜日) 安全に気を付けて草刈り

【参加者:池本幸、越智宏、梶川、木谷、芝田香、鈴木哲

計6名】



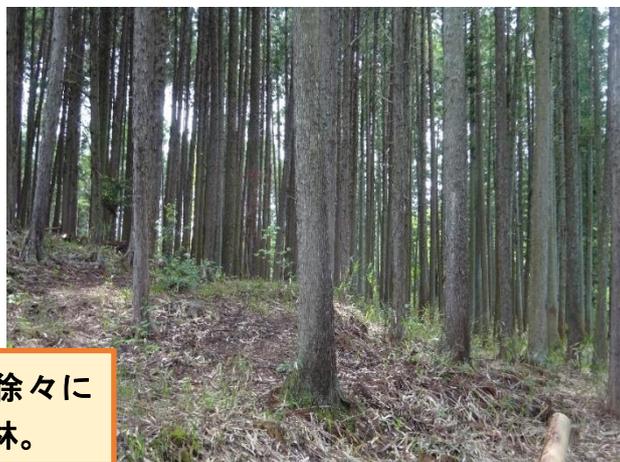
モリメイトフィールド周辺も草が繁茂してきており、梅雨に入る前に一度きれいに刈れるだけ刈っておくことにした。広範囲のため、刈り払い機を使っての草刈りである。

人力で行うと重労働である草刈りを動力で行うことができる刈り払い機は便利で身近な器具である。しかし、高速で回転する刈刃が露出しているため、十分安全に留意して使用しないと大変危険である。1年のうちで5月と7・8月に事故が多らしい。これからは毎週草刈り作業が続くことになるので十分注意して行わなければと肝に銘じて作業に取りかかった。

めいめいが離れた場所に散らばり、地面の石や枝などを取り除いて刈っていった。回転する刈刃が障害物や地面に当たって跳ね返るキックバックにも十分注意して行った。刈刃に巻き付いた草や異物を取り除く際は、必ずエンジンを止めてから行うようにしている。



今回は、花菖蒲園周辺、クヌギの最初の植樹地、小川の兩岸の草刈り、杉林の笹刈りを行った。



笹を刈り進め、徐々に整備されてきた杉林。



モリメイトフィールドに白いガマズミの花が咲いていた。樹高3mほどの落葉広葉樹である。晩夏から秋にかけて5mmほどの赤い実をつける。実は、果実酒にも利用でき、酢、ジャム、ゼリー、ジュース、健康ドリンクなどに商品化されている。



5月26日(木曜日)

緑に囲まれて

【参加者：池本幸、越智宏、梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中

9名】

## 花菖蒲園周辺の草刈り



6月になると花菖蒲の花が咲き始める。その前に周辺の草刈りをした。周囲は刈り払い機で刈り、中は手鎌で丁寧に刈っていった。花菖蒲の葉が際立ちスッキリと涼しげな花菖蒲園になった。優美な花形としっとりとした風情の花が待ち遠しい。

### 花菖蒲とアヤメ・カキツバタとの見分け方

- ・花菖蒲は花卉の付け根が黄色
- ・アヤメのような網目模様がない
- ・葉幅は狭く、葉脈がはっきりと隆起している点でカキツバタと区別



## クヌギの苗木の植え替え

「クヌギの森作り」のため、中さんがプランターにどんぐりを植えて育ててくれていたクヌギの苗木が30cmほどになったので移しかえることにした。ビートルズベッドの腐葉土をビニールポットに入れ、一苗ずつ入れていった。移しかえられた苗木は、中さんが家に持ち帰り「クヌギの森づくり」の日まで再び育ててくれる。



## 除伐したクヌギからひこばえが

昨年シイタケのホダ木にするために除伐したクヌギから青々とした元気なひこばえが出てきた。ひこばえとは、樹木の切り株や根元から生えてくる若芽のことで、春から夏にかけて多く見られる。太い幹に対して、ひこ(孫)に見立てて「ひこばえ(孫生え)」というそうだ。森林伐採の後、切り株からひこばえによって新たな森林ができるようにすることを萌芽更新という。何年かしてひこばえが大きくなり、シイタケのホダ木として使える時が来るだろう。

